

「御堂筋」の移管に向けた協議会

設立趣意書（案）

御堂筋は、大阪市の都心部を南北に貫くメインストリートであり、美しい景観を有する大阪のシンボルとして、昭和12年の完成から今日に至るまで、広く市民や訪れる人々に親しまれている、国内外に誇れる街路である。

平成12年には、行政団体、経済団体、地元まちづくり団体等で構成する「新しい時代の御堂筋」協議会を設立し、活性化策を検討するとともに、国、市をはじめとして官民協力して諸事業を進めるなど、大阪の都市再生の観点からも注目度の高い道路である。

近年は、沿道にブランドショップが建ち並ぶなど、「大阪の顔」として世界に誇れる風格あるシンボルロードへのさらなる発展を期待されているところである。

こうした中、大阪のシンボルロードとして期待に応えられる移管の方策等について、地元まちづくり団体の意向も聞きながら検討し、もって早期の円滑な移管を実現するため、本協議会を設立するものである。